

SSH神津島研修（8月20-22日）

異常気象で台風の当たり年の今夏、神津島研修に行ってきました。事前に台風接近による船の欠航が予想されましたので、急遽計画を変更し、1日短縮した形で実施しました。神津島には24時間半程度の時間しか滞在できませんでしたが、その分、密度の濃い研修になったと思います。生徒には大きな2つのミッションと個人プロジェクトを課しました。

○赤崎海岸でのミッション（地学分野）

- ①流紋岩の多様性を記録する
- ②流紋岩の成因 —なぜこの模様ができたのか—
- ③黒曜石の成因 —流紋岩との関係—

神津島は、良質な黒曜石を産する島として地質学的かつ考古学的に有名です。黒曜石は特定の流紋岩の溶岩流に挟まれて存在していますが、島内各所に分布する流紋岩自体に化学的な差はあまりないと言われています。そこで赤崎海岸では様々な流紋岩の産状を観察し、最終的には、なぜ黒曜石ができたのかということを考えてもらいました。



○郷土資料館見学でのミッション（社会分野）

- ①神津島の伝説ができた理由を考える
- ②暮らしの様子を伝える古い道具から古人の工夫を見つける
- ③村の人々の暮らしは、どのように移り変わったか。
- ④昔から神津島に伝わる行事が存在する理由は何か。

神津島は、もともと神集島であったという説があります。このように神津島は、その自然を背景に神話やそれに伴う行事が伝わっており、人々の暮らしに影響を与えていることが、郷土資料館の見学で判りました。



○個人プロジェクト

今年のSSH離島研修での新しい試みは、個人プロジェクトの設定です。各自が自分で探究課題を設定し、神津島内でフィールドワークを実施しました。一部の個人プロジェクトのタイトルと画像を紹介します。

- ・神々の湧かせた恵み（湧水地点調査、左上）
- ・神津島の流紋岩（右上）
- ・神津島 神様が集う島！ ～産業・歴史から紐解く～（右下）
- ・神津島に生息する魚類（左下）



まとめ

熊高SSHは、学際的なアプローチを追求しています。今回、神津島に関して素材は揃いました。各分野を俯瞰しながら議論し、新しいアイデアを生まれることを期待しています。